

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年2月13日(2024.2.13)

【公開番号】特開2022-132755(P2022-132755A)

【公開日】令和4年9月13日(2022.9.13)

【年通号数】公開公報(特許)2022-169

【出願番号】特願2021-31381(P2021-31381)

【国際特許分類】

C 09 D 4/00(2006.01)

10

C 09 D 5/20(2006.01)

C 09 D 133/00(2006.01)

B 32 B 27/00(2006.01)

B 32 B 27/38(2006.01)

【F I】

C 09 D 4/00

C 09 D 5/20

C 09 D 133/00

B 32 B 27/00 L

B 32 B 27/38

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月2日(2024.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 光照射により硬化する重合体を含有し、該光照射により硬化する重合体が、シンナモイル基又はシンナモイル構造を含む置換基である光二量化する構造部位を有することを特徴とする剥離層形成用組成物。

30

【請求項2】

前記(A)光照射により硬化する重合体が、前記光二量化する構造部位を有するモノマーを用いて得られる重合体である請求項1記載の剥離層形成用組成物。

【請求項3】

前記(A)光照射により硬化する重合体が、アクリル酸エステル化合物、メタクリル酸エステル化合物、マレイミド化合物、アクリルアミド化合物、アクリロニトリル、マレイン酸無水物、スチレン化合物及びビニル化合物からなる群から選ばれるモノマーを用いて得られる重合体である請求項1又は2記載の剥離層形成用組成物。

40

【請求項4】

前記(A)光照射により硬化する重合体が、光二量化する構造部位を有するモノマーとともに、光二量化する構造部位を有しないモノマーを用いて得られる重合体であり、

前記光二量化する構造部位を有するモノマーの含有量が、全モノマー単位100モル%に対して1~50モル%であり、かつ、前記光二量化する構造部位を有しないモノマーの含有量が、全モノマー単位100モル%に対して50~99モル%である請求項2又は3記載の剥離層形成用組成物。

【請求項5】

前記光二量化する構造部位を有しないモノマーが、脂環式炭化水素基を有するモノマー

50

である請求項4記載の剥離層形成用組成物。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項記載の剥離層形成用組成物を光硬化させてなる剥離層。

【請求項7】

請求項6記載の剥離層に、波長400nmの光透過率が80%以上である樹脂層が積層された積層体。

【請求項8】

前記樹脂層が、エポキシ化合物を含有する熱硬化膜である請求項7記載の積層体。

【請求項9】

請求項1～5のいずれか1項記載の剥離層形成用組成物を基体上に塗布した後、露光を行ふことで剥離層を形成する積層体の製造方法。 10

【請求項10】

請求項1～5のいずれか1項記載の剥離層形成用組成物を基体に塗布し、露光して剥離層を形成する工程、

前記剥離層上に、波長400nmの光透過率が80%以上である樹脂基板を形成する工程、及び

前記樹脂基板を、1.0N/25mm以下の剥離力で剥離する工程を含む樹脂基板の製造方法。

20

30

40

50